



2026年5月15日

各 位

会 社 名 ク ニ ミ ネ 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 國 峯 保 彦
(コード番号: 5388 東証スタンダード)
問 合 せ 先 管理部長 長 坂 裕 樹
(TEL 03-3866-7256)

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について（アップデート）

当社は、本日開催の取締役会において、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について現状の分析・評価を行い、改善に向けて更新した内容を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状分析・評価

2026年3月期は主に売上高営業利益率が1.2ポイント改善したことによりROEは6.1%に回復し、当社が想定している株主資本コスト5%（CAPMモデル）を上回りましたが、依然として一般的な投資家の期待する8%を下回っていることが、PBR1倍を下回って推移する要因の一つであると認識しております。

また、成長期待の醸成のため、株主・投資家の皆様に今後の事業戦略についてさらなるご理解を得る必要があるとの評価をしております。

項目	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高 (百万円)	15,257	15,325	15,675	15,707	17,075
営業利益 (百万円)	1,666	828	1,231	1,280	1,602
売上高営業利益率 (%)	10.9	5.4	7.9	8.2	9.4
当期純利益 (百万円)	1,301	842	1,043	1,078	1,340
ROE (%)	6.5	4.1	5.0	5.0	6.1
PBR (倍)	0.63	0.56	0.63	0.58	0.71
1株当たり配当金 (円)	30	40	40	40	40
配当性向 (%)	29.7	60.4	47.8	45.4	36.3

2. 改善に向けた方針・目標

現状評価を踏まえ、新たな体制のもと2027年3月期を初年度とする新たな中期経営計画（2027年3月期～2029年3月期）の取り組みを通して収益力の向上を図り、株主還元・IRの各施策を着実に実行し、持続的な企業価値向上とPBRの改善に努めてまいります。

3. 改善に向けた具体的な取組み

① 収益力の向上

- ・2027年3月期を初年度とする中期経営計画（2029年3月期：売上高20,000百万円、営業利益2,600百万円）を着実に実行し、最終年度までに株主・投資家の皆様が一般的に企業に求める期待リターン（株主資本コスト）値8%を上回るROEの達成を目指してまいります。
- ・特に以下の成長が見込まれる分野に注力し、収益力を向上させてまいります。
 - 『地熱発電/放射性廃棄物処理案件』（ベントナイト事業 環境建設分野）
 - 『社会インフラ整備需要』（ベントナイト事業 環境建設分野）
- ・新規事業領域の創出・拡大を図り、以下の案件を核として事業構造の転換を進めてまいります。
 - 『種子コーティング受託案件』（アグリ事業）
 - 『先端機能材料として蓄電デバイス部材、工業用研磨材用途への参入』
(クレイサイエンス事業)
 - 『三次元細胞培養技術の試薬・創薬分野への展開』（クレイサイエンス事業）

② 株主還元

- ・配当性向30%を目安として業績に連動した利益還元を行い、また1株当たり配当金の下限を40円として安定的な配当の維持にも努めることを基本方針としており、2027年3月期の業績予想に基づく配当性向は36.1%になります。

③ IRの充実（認知度の向上）

- ・以下のとおり、株主数は順調に増加しており、徐々に投資家への認知度が向上しているものと推測しておりますが、流動性が低い状況が続いていることが課題であると認識しております。
- 今後さらに一層、IR効果の高い情報発信を増やすことに努めてまいります。

基準日	2024/3 期末	2025/3 期末	2026/3 期末
1 単元以上株主数（名）	4,533	7,430	8,259
年間増加数（名）	-	2,897	829

以 上